

# 木や昆虫 観察してね

富山市の森林保全ボランティア組織「きんたろう倶楽部」と同市榆原中学校は13日、富山市割山(細入)の割山森林公園「天湖森」で里山整備に取り組み、園内の雑木林に木々や昆虫を観察できる遊歩道を作った。



きんたろう倶楽部のメンバー(左)から、のこぎりの使い方を教わる生徒

きんたろう  
倶楽部と榆原中

## 天湖森に遊歩道整備

### 生徒に手ほどき 低木伐採

倶楽部のメンバー七人と生徒四十五人が参加。同中は毎年四月、同公園で青空給食会を実施しており、日ごろの感謝の気持ちを表そうと活動に加わった。

作業に先立ち、生徒会長の山下葉子さん(二年)が「たぐさんの人に利用してもらえように整備したい」とあいさつ。倶楽部の山田務事務局長が、のこぎりの使い方などを説明した。

雑木林の中には、コブシやヒサカキ、ネジキなど低木樹が生い茂っている。生徒たちは倶楽部のメンバーの手ほどきを受けながら、次々と樹木を伐採した。

一時間ほどの作業で、幅約二メートル、長さ約百五十メートルの遊歩道を整備した。山田事務局長は「作業を継続的にに行い、来園者が安全に自然と親しめる環境を作りたい」と話している。